

第2号様式(第8条関係)

禁止行為の解除承認申請書

年 月 日

東京消防庁  
消防署長 殿

申請者  
住 所  
電話 ( )  
氏 名 印

火災予防条例第23条第1項の規定による指定場所における禁止行為について、解除の承認を受けたいので下記により申請します。

防 火 対 象 物	所 在 地	電 話 ( )		
	名 称		用 途	
	関係者住所			
	氏 名			
解除の承認 を受けよう とする場所	階		階 の 用 途	
	名 称		場 所 の 用 途	
	構 造		内 部 の 仕 上 げ	
解除の承認 を受けよう とする行為	種 類	喫煙・裸火使用・危険物品持込み		
	期 間	年 月 日から 年 月 日まで		
	理 由			
	内 容			
行 為 者	住 所			
	職 業			
	氏 名			
火災予防上 講じた措置				
受 付 欄		処 理 欄		

- 備考 1 申請者が法人の場合、氏名欄には、その名称及び代表者氏名を記入すること。  
 2 解除の承認を受けようとする場所の詳細図及び当該場所付近の概要図を添付すること。  
 3 行為者が2人以上の場合は、その所属、氏名等を記載した書類を添付すること。  
 4 欄には、記入しないこと。

【禁止行為の解除承認申請書記入要領】

項 目		記 入 要 領
年 月 日		消防署に申請書を提出する年月日を記入します。
宛 先		防火対象物（建物）を管轄する消防署長宛とします。
申 請 者		禁止行為を行う指定場所を有する防火対象物（建物）の所有者・防火管理者等責任が明確な者の、住所、氏名、電話番号を記入し、押印します。余白に連絡先の電話番号を記入して下さい。（法人の場合は、法人の住所、名称及び代表者の職・氏名・電話番号を記入し、押印します。）
防火対象物	所 在 地	禁止行為を行う指定場所を有する防火対象物（建物）の所在地及び電話番号を記入します。
	名 称	防火対象物（建物）の名称を記入します。例： ビル
	用 途	防火対象物（建物）全体の用途を記入します。 例：劇場・ホテル・飲食店・スタジオ・展示場・百貨店・複合用途（用途が混在している建物）等
	関係者住所氏名	防火対象物（建物）の責任者（社長・店長等）の住所及び氏名を記入します。
解除承認を受けようとする場所	階 階 の 用 途	申請場所の階及び用途を記入します。
	名 称	防火対象物（建物）内のどこの場所であるか特定できる名称等を記入します。
	場 所 の 用 途	申請場所の実態用途を記入します。 例：舞台、大道具室、売場、加工場等
	構 造	申請する防火対象物（建物）の構造を記入します。 例：鉄筋コンクリート造・鉄骨造・木造
	内部の仕上げ	申請場所の内部仕上げ 例：不燃仕上・準不燃仕上
解除承認を受けようとする行為	種 類	解除承認を必要とする禁止行為の種類を で囲みます。
	期 間	解除承認を必要とする期間を記入します。 恒常的な行為で期間のない場合は、開始日のみ記入します。
	理 由	解除承認を必要とする理由を具体的に記入します。 例：演劇の演出効果をあげる為・客に対するサービスの為
	内 容	行為内容を具体的に簡記します。 内容が複雑なものは別紙等に記載します。 例：第2幕で火薬（ ）を使用し、爆発音を出す。
	住 所 ・ 職 業 氏 名	行為者が複数いる場合は、行為者の代表者を記入します。
火 災 予 防 上 講 じ た 措 置		解除承認を受けようとする行為に対して火災予防上講じた内容を記入します。内容の多いものは、別紙等に記載します。 例：消火器（ 型） 本と消火係 名を舞台両袖に配置する。 自衛消防隊が屋内消火栓のホースを延長し、待機する。 不燃材を床に敷く。